

第124期

報 告 書

(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

岡野バルブ製造株式会社

# 株主の皆様へ

2024年2月

代表取締役社長 岡野 武治

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、ご厚情の程心から御礼申し上げます。

さて、当社第124期（2022年12月1日から2023年11月30日まで）を終了いたしましたので、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

## 事業の概況（連結）

### 【経営業績】

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や民間設備投資が持ち直しつつあり景気に緩やかな回復基調が見られ始めましたが、一方で世界的な金融引き締め、資源価格の高騰、円安進行など、外部要因が国内景気に下押しリスクをもたらしており、予断を許さない状況が続きました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきましては、世界的に原発回帰への動きがみられ、国内においても次世代原子炉の研究が進むなど原子力を取り巻く環境に前進が見られました。また、国内火力発電においては徐々に進められている水素やアンモニア混焼などを通じて化石燃料からの段階的脱却を目指している状況であります。

このような事業環境の中、バルブ製造販売部門では、女川原子力発電所2号機、東海第二発電所、島根原子力発電所2号機、3号機向けなど、原子力発電用の弁・部品販売が好調であり、また碧南火力発電所4号機、八代バイオマス発電所などのゼロエミッション発電用の販売も堅調に推移した結果、売上高は当初の計画を上回りました。

メンテナンス部門では、福島第一原子力発電所3号機の廃炉関連工事をはじめ、女川原子力発電所2号機の弁・機器点検工事、柏崎刈羽原子力発電所7号機の弁点検工事・配管系統図作成など、年間を通じて安定的に案件を確保できたことから、売上高は概ね当初の計画通りに推移いたしました。

その他試験研究等の新事業につきましては、受注時期の調整に伴う売上時期の延伸などにより、売上高は当初の計画を下回ることとなりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は7,407百万円（前連結会計年度比7.6%増）となりました。また損益面につきましては、短納期かつ採算性の高い取替部品の販売が増加したことや、メンテナンス部門において年間を通じて高稼働率を維持できたことに加え、繁忙期にはバルブ製造販売部門要員をメンテナンス部門へ機動的に配置するなど人的資源を有効活用したこと、さらには全社的に採算管理を徹底し原価低減に注力した結果、営業利益812百万円（前連結会計年度比66.3%増）、経常利益910百万円（前連結会計年度比61.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益697百万円（前連結会計年度比44.4%増）となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、1株につき30円とさせていただきます。

### 【対処すべき課題】

従前からの社会的使命である電力の安定供給への貢献を続けながら、本来の姿であるソリューション集団として新たな価値、事業を創造し、より良い社会への貢献を果たしていくことが当社グループの経営戦略であり対処すべき課題です。事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、持続可能な成長を続けることにより、当社グループの企業価値、株主価値の最大化を図り、ものづくりで長年培った技術・ノウハウに DX を組み合わせた伝統と革新の融合で「未来型ものづくり企業」のあり方を体現することを目指します。

当社では、近年取り組んできた各種施策により、現状の売上規模でも一定の利益を創出できるまでの事業基盤へ改善されてきております。よって、最優先の課題は売上規模の拡大であると認識しており、この実現に向け、コア事業であるバルブ製造販売部門およびメンテナンス部門におきましては、近い将来計画されている国内原子力発電所の再稼働に対して堅実に貢献していくことを共通として、バルブ製造販売部門では、デジタルテクノロジーを活用した生産性向上への取り組みにより事業規模拡大に対応可能な組織を構築し、海外パワープラントへの販路拡大、ゼロエミッション発電領域への本格参入、自社製品以外の生産受託サービスの強化などを推進してまいります。メンテナンス部門では、工業プラントにおけるメンテナンス集団からソリューション集団へと進化し、総合工事会社としてこれまで以上に事業競争力を高め、バルブメンテナンス領域外の受注強化を推進してまいります。また、ソリューション事業におきましては、装置産業の DX をはじめ、これまで進めてきた各種事業開発をもって蓄積したノウハウ、知見、ネットワーク、これらを駆使した直接的な事業構築を加速させ、更には新たなプロダクト、サービス開発を推進し事業規模を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 経営成績・財産状況の推移（連結）

区 分	第 121 期 (2020 年 11 月期)	第 122 期 (2021 年 11 月期)	第 123 期 (2022 年 11 月期)	第 124 期 (2023 年 11 月期)
受 注 高 (百万円)	5,698	6,305	7,517	7,074
売 上 高 (百万円)	6,362	5,850	6,887	7,407
営 業 利 益 (百万円)	147	365	488	812
経 常 利 益 (百万円)	251	445	562	910
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	375	303	483	697
1 株当たり当期純利益	217 円 77 銭	177 円 61 銭	290 円 83 銭	433 円 84 銭
総 資 産 (百万円)	12,587	12,095	12,395	12,707
純 資 産 (百万円)	8,815	9,004	9,456	10,011

連結貸借対照表

2023年11月30日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	8,673	流 動 負 債	1,331
現金及び預金	3,533	買掛金	310
受取手形、売掛金及び契約資産	3,879	1年内返済予定の長期借入金	312
製 品	94	未払費用	372
仕 掛 品	985	未払法人税等	126
原 材 料	145	賞与引当金	28
そ の 他	34	製品保証引当金	15
固 定 資 産	4,034	そ の 他	166
有 形 固 定 資 産	2,615	固 定 負 債	1,364
建物及び構築物	1,339	長期借入金	835
機械装置及び運搬具	899	長期未払金	41
土 地	302	退職給付に係る負債	479
そ の 他	73	そ の 他	7
無 形 固 定 資 産	66	負 債 合 計	2,696
投資その他の資産	1,352	純 資 産 の 部	
投資有価証券	657	株 主 資 本	9,832
繰延税金資産	111	資 本 金	1,286
投資不動産	514	資 本 剰 余 金	544
そ の 他	71	利 益 剰 余 金	8,548
貸倒引当金	△3	自 己 株 式	△545
資 産 合 計	12,707	その他の包括利益累計額	178
		その他有価証券評価差額金	79
		退職給付に係る調整累計額	98
		純 資 産 合 計	10,011
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,707

連結損益計算書

2022年12月1日から2023年11月30日まで

(単位：百万円)

売上高		7,407
売上原価		5,553
売上総利益		1,854
販売費及び一般管理費		1,042
営業利益		812
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	
受取賃貸料	35	
投資有価証券売却益	3	
持分法による投資利益	44	
その他の	31	124
営業外費用		
支払利息	4	
減価償却費	3	
固定資産除却損	2	
支払保管料	8	
消費税差額	7	
その他の	0	25
経常利益		910
税金等調整前当期純利益		910
法人税、住民税及び事業税	149	
法人税等調整額	63	212
当期純利益		697
親会社株主に帰属する当期純利益		697

連結株主資本等変動計算書

2022年12月1日から2023年11月30日まで

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
当 期 首 残 高	1,286	543	7,883	△386	9,326
当 期 変 動 額					
剰余金の配当			△33		△33
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			697		697
自己株式の取得				△170	△170
自己株式の処分		0		11	11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	0	664	△159	506
当 期 末 残 高	1,286	544	8,548	△545	9,832

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当 期 首 残 高	41	87	129	9,456
当 期 変 動 額				
剰余金の配当			—	△33
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			—	697
自己株式の取得			—	△170
自己株式の処分			—	11
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	38	10	48	48
当期変動額合計	38	10	48	554
当 期 末 残 高	79	98	178	10,011

## 株 式

### 株式の状況

発行可能株式総数	5,940千株	
発行済株式の総数	1,793千株	(うち自己株式 195千株)
株主数	1,395名	(前期末比 127名増)

### 株価の推移

(東京証券取引所株価)

	2022年 12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
高 値	3,330	3,395	3,015	3,095	3,195	2,913	3,035	2,751	2,630	2,581	2,824	2,792
安 値	2,498	2,856	2,820	2,763	2,821	2,732	2,632	2,605	2,550	2,501	2,533	2,665

### 大株主（上位10名）

(2023年11月30日現在)

株 主 名	持 株 数 株	持 株 比 率 %
岡 野 商 事 株 式 会 社	392,180	24.54
岡 野 正 敏	134,380	8.40
光 通 信 株 式 会 社	113,000	7.07
清 原 達 郎	89,400	5.59
岡 野 バ ル プ 取 引 先 持 株 会	71,317	4.46
岡 野 バ ル プ 社 員 持 株 会	51,302	3.21
株 式 会 社 福 岡 銀 行	48,000	3.00
株 式 会 社 北 九 州 銀 行	48,000	3.00
岡 野 正 紀	46,134	2.88
木 多 康 昭	45,000	2.81

(注) 当社は、自己株式(195,026株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布

(2023年11月30日現在)

区 分	株 主 数 名	株 式 数 株	株 数 比 率 %
金 融 機 関	8	190,300	10.61
金 融 商 品 取 引 業 者	21	19,325	1.08
国 内 法 人	31	559,296	31.19
外 国 法 人 等	18	54,903	3.06
個 人 ・ そ の 他	1,317	969,176	54.06
合 計	1,395	1,793,000	100

## 役員

(2024年2月28日現在)

代表取締役社長	岡野武治
取締役	木村浩一
取締役	丹野信康
取締役	石田仁
取締役	菊池勇太
取締役	常盤木龍治
取締役	(監査等委員) 寺脇豊
社外取締役	(監査等委員) 相浦圭太
社外取締役	(監査等委員) 刈上耕司

## 会社の概要

(2023年11月30日現在)

商号	岡野バルブ製造株式会社 OKANO VALVE MFG. CO. LTD.
本社所在地	北九州市門司区中町1番14号
創業	1926年11月3日
設立	1936年2月21日
資本金	1,286,250,000円
上場取引所	東京(スタンダード市場)、福岡
従業員数	178名
主要な営業品目	バルブ 高温・高圧用鑄鍛鋼弁／中・低圧用鑄鍛鋼弁 低温・超低温用鑄鍛鋼弁／原子力発電用鑄鍛鋼弁 船用船級鑄鍛鋼弁／石油精製・石油化学用弁 各種安全弁ならびにレリーフ弁 各種自動調整弁ならびに減圧弁／蒸気変換弁 フッ素樹脂ライニング弁／バタフライ弁 鑄鋼品 各種バルブ鑄鋼素材／鑄鋼接続管／各種鑄鋼高圧容器 船用タービンケーシングならびにディーゼル部品 メンテナンス 自動摺合機器 弁座取替補修機器・弁座ステライト盛替補修機器 非分解弁点検装置／バルブメンテナンス工事

事業所
-----

(2024年2月28日現在)

本 社	〒800-8601 北九州市門司区中町1番14号 TEL 093(372)1131
X - B O R D E R K O Z A	〒904-0004 沖縄県沖縄市中央区1丁目15番14号
S - T O K Y O	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16番5号
東 京 営 業 所	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16番5号S-TOKYO 6F TEL 03(6231)1300
大 阪 営 業 所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目18番5号 TEL 06(6190)4601
九 州 事 業 所	〒824-0038 福岡県行橋市西泉4丁目4番1号 TEL 0930(23)0023
柏 崎 刈 羽 事 業 所	〒945-0016 新潟県柏崎市青山町小丸山3番1号 TEL 0257(45)5050
福 島 事 業 所	〒979-0601 福島県双葉郡楢葉町大字波倉細谷74番5号 TEL 0240(25)5588
東 北 事 業 所	〒986-0856 宮城県石巻市大街道南5丁目2番2号 TEL 0225(96)2260
北 海 道 事 業 所	〒053-0031 北海道苫小牧市春日町2丁目16番5号 TEL 0144(33)2530
大 阪 事 業 所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目18番5号 TEL 06(6190)4602
行 橋 工 場	〒824-0038 福岡県行橋市西泉4丁目4番1号 TEL 0930(23)0026

上記のほかにメンテナンス拠点として出張所を全国に3ヶ所配置しております。

# 株 主 メ モ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	毎年11月30日 このほか必要がある場合は、あらかじめ公告をもってお知らせいたします。
剰余金配当の基準日	期末配当金 11月30日 中間配当金 5月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 ( <a href="https://www.okano-valve.co.jp/">https://www.okano-valve.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**SUPERO**

**OKANO**

The Spirit of Manufacturing